

特設展

昭和文学を

ふり返る

収蔵資料より

或阿呆の一生

太陽のない街

銭形平次捕物帖

放浪記

キヤラメル工場から 蟹工船

宮本武蔵

いのちの初夜

人生の阿呆

風立ちぬ

枯木のある風景

人生劇場 黒蜥蜴

麦隊と兵隊

銀河鉄道之夜

山路記

オリスの果実

紅雪

焼跡のイコラ

鞍馬天狗

肉体の門

桜の森の満開の下

斜陽

おはん

雪国

犬神家の一族

真実犯

二十四の瞳

おはん 迷路

縦ノ木は残った

死者の香り

樺山節考

天平の薨

サライサライ

死の棘

橋のない川

龍馬がゆく

砂の女 氷点

黒い雨

乱調にあり

砂の器

豊饒の海

赤頭巾ちゃん気をつけて

青春の門

鬼平犯科帳

富士火宅の人

人間の証明

限りなく透明に近いブルー

龍児

裏声で歌へ

なんとなん、クリス

父の詫び状

吉里吉里人 時代屋の女房

最終便に間に合えば

ベッドタイムアイズ

ノルウェイの森 キッチン

由熙

2026年4月25日(土) ~ 6月14日(日)

昭和元(1926)年から**100**年
文学のゆたかな実りをたどります

そのことばのつづきへ

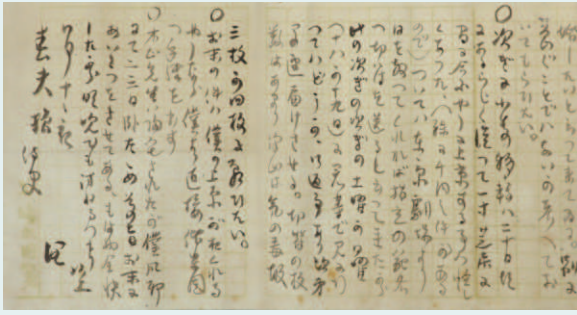


山梨県立文学館

Yamanashi Prefectural Museum of Literature

〒400-0065 山梨県甲府市真川1-5-35
TEL: 055-235-8080 FAX: 055-226-9032
<https://www.bungakukan.pref.yamanashi.jp/>





谷崎潤一郎 佐藤春夫宛書簡 1931(昭和6)年4月10日

前年に谷崎は千代夫人と離婚、千代は佐藤と再婚し、谷崎はこの年4月、古川十未子と再婚した。書簡は結婚直前の谷崎を訪問した佐藤夫妻が東京に戻って間もない時のもの。千代の妹せい(女優の葉山三千子)の身の振り方についての相談や谷崎原作の舞台への誘いなどが記される。



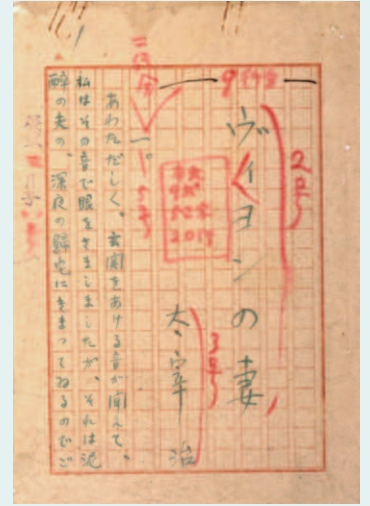
風間完画 山本周五郎「縦ノ木は残った」イメージ画

「縦ノ木は残った」は「日本経済新聞」連載(1954~1956年)後、数度にわたり単行本化されるなど人気を博した。風間完は1969(昭和44)年8月、講談社刊行の際に装幀を担当。この水彩画は当館の企画展「曲軒・山本周五郎の世界」(1998年10月)開催にあたり新たに制作されたもの。

イヤンジ ユヒ
李良枝が「由照」で1989(平成元)年第100回芥川賞受賞の際、正賞として贈られた懐中時計(寄託資料)



二〇二六年の今年は、昭和元年(一九二六)から数えて百年を迎えます。戦争をはさんで大きな時代の変化とともに生み出されてきた昭和の文学を、小説を中心に、芥川龍之介・谷崎潤一郎・井伏鱒二・山本周五郎・太宰治・檀一雄・武田泰淳・深沢七郎・津島佑子・李良枝などの収蔵資料とともにふり返ります。



太宰治「ヴィヨンの妻」原稿(寄託資料)「展望」第15号(1947年3月)掲載。



石川達三『蒼氓』
1935(昭和10)年10月 改造社
表題作「蒼氓」のほか「石女」「毒草苑」「霧海」を収録。「蒼氓」は、同年創設された第1回芥川龍之介賞の受賞作。

関連イベント ※いずれも無料

*電話または当館ホームページの「イベント」欄申込みフォームからお申し込みください。
(年間文学講座はお電話のみの受付です)
*先着順で定員になり次第締め切りとなります。

■講演会「『暗い昭和』と『陽だまりの昭和』のあいだ」

日時:5月30日(土)午後1時30分~午後3時
講師:川本三郎(文芸評論家)
会場:講堂 定員500名 無料

■朗読公演会
文学座「ひかりごけ」(原作:武田泰淳)

日時:6月7日(日)午後2時~午後3時15分(予定)
会場:講堂 定員500名 無料

■年間文学講座3
特設展「昭和文学をふり返る」の見どころ

日時:5月17日(日)午後2時~3時10分
講師:高室有子(当館学芸員)
会場:研修室 定員70名 無料

■名作映画鑑賞会「山と谷と雲」(原作:檀一雄)

(映画の申込みは4月14日から受け付けます)
日時:5月23日(土)午後1時30分~ 96分
会場:講堂 定員300名
監督:牛原陽一 出演:石原裕次郎、北原三枝、金子信雄ほか

■閲覧室資料紹介「昭和文学再発見」

資料は手にとってご覧いただけます。入場無料、申込み不要
会期:4月24日(金)~6月14日(日)
会場:1F 閲覧室

ご利用のご案内

開館時間

展示室:9:00~17:00(入室は16:30まで)
閲覧室:9:00~19:00(土・日・祝日は18:00まで)

休館日

月曜日(4月27日、5月4日は開館)、5月7日(木)

観覧料

常設展観覧料でご覧いただけます。
一般330円(260円) 大学生220円(170円)

- * ()内は20名以上の団体料金、県内宿泊者割引料金
- * 高校生以下の児童・生徒は無料
- * 大学生と高校生は学生証等持参
- * 65歳以上の方は無料。年齢がわかるものをご提示ください
- * 障害者手帳をご持参の方およびその介護をされる方は無料

文学館常設展・美術館コレクション展共通券
一般680円、大学生340円

交通のご案内

【電車・バス】

JR中央本線甲府駅より
●JR甲府駅バスターミナル(南口)1番乗り場より、03・04系統 竜王駅経由敷島営業所、30系統 貫川団地、35系統 大草経由 韮崎駅、39系統 御勅使 各行ききのバスで約15分、「山梨県立美術館」下車。
※当館ホームページからもバスの時刻表をご覧いただけます。
●タクシーで約15分

【車】

中央自動車道
●甲府昭和インターチェンジより約10分
●双葉スマートインターチェンジより約10分 ※ETC専用
中部横断自動車道
●白根インターチェンジより約20分

X (旧Twitter)
@bungakukan_ymns

Instagram
@yamanashi_art_literature_park



山梨県立文学館
ホームページ



そのことばのつづきへ
山梨県立文学館
Yamanashi Prefectural Museum of Literature
〒400-0065 山梨県甲府市貫川1-5-35
TEL: 055-235-8080 FAX: 055-226-9032
https://www.bungakukan.pref.yamanashi.jp/